

サラヤ株式会社 （製造業）

＜女性専門職のキャリア継続支援や、海外展開の実行部隊として外国人の積極登用を実施＞

◆ダイバーシティ経営の背景

- ・ 創立当初から企業理念として「環境負荷の低減」が掲げられていたが、現社長の就任時に「サステイナブルな社会の構築」として理念化され、サステイナブルな成長のために多様性という概念が重視されることとなった。近年の事業戦略と展開の中で、事業の多角化や海外展開等により、人材の多様化が不可避となり、ダイバーシティ施策の拡充を図っている。
- ・ 従来から主に女性を対象とした両立支援施策や積極的な外国人雇用などをそれぞれ個別に実施してきたが、2年前にダイバーシティ推進室を立ち上げ全社的な取り組みとして体系化してきた。

◆取組内容

- ・ 1990年代半ばに事業規模を大きく拡大したが、その当時に採用した女性社員の両立支援策やキャリア形成に関するニーズが2000年代以降高まってきた。特に、「食品衛生インストラクター」と呼ばれる対企業の食品衛生管理構築のサポート業務を行う専門スタッフには女性が多く、ノウハウや技能を有する彼女らに長期的に活躍してもらう環境整備が喫緊の課題となっていた。そこで、衛生インストラクターの業務プロセスを細分化し、在宅勤務者に書類作成を分担させたり、繁忙期のみ派遣調査員として委託したりすることで、繁閑に応じて現場のスタッフ数を柔軟に対応させるとともに、勤務地・時間の制限を柔軟化し、スタッフの多様なキャリア形成が実現できるようになった。
- ・ また、現在は海外展開に向けて、中国人やフィリピン人、インド人など外国人を積極的に新卒採用し、主に研究開発や海外事業の分野で一定程度の責任を持たせて業務を任せている。

◆成果

- ・ 衛生インストラクターの人員配置の柔軟化と業務プロセス改善により、生産性向上と社員のモチベーションの向上の両者がともに実現された。全体としても、働きやすい環境づくり等の取組が功を奏し、就職希望者が前年比10%ずつ増加、優秀な人材獲得につながっている。
- ・ また、女性や外国人など多様な人材に対して、積極的に重要な役割に登用してきたことで、期待度の高いコア社員のモチベーションが向上してきた。特に、外国人社員の活躍により、10年間で11カ国15拠点に増加した海外拠点での事業拡大が着実に実現している。

＜企業概要＞

設立年	1959 年	資本金	45 百万円
本社所在地	大阪府東住吉区湯里2-2-8		
事業概要	石鹼・洗剤・消毒剤等、予防衛生商品と衛生機器および食品・化粧品等の開発・製造・サービス		
売上高(※)	23,648 百万円 (※)直近決算期(2012 年 10 月)		

＜従業員の状況（単体）＞

総従業員数	1,102 人(うち非正規 403 人)
属性ごとの人数等	【女性】511 人(うち非正規 330 人)、女性管理職比率 7.6% 【外国人】20 人 【障がい者】12 人(内重度 7 名) 【65 歳以上】20 人
正規従業員の平均勤続年数	8.5 年(男性 10.2 年 女性 6.6 年)